昭和４０年４月５日第三種郵便物認可
（旧「公衆衛生」）

2026年7月1日発行
第648号（通算）
発行：奇数月1日
会員購読料：1月10円(年間60円)
一般購読は別途送料

環境づくり・健康づくりのコミュニティ情報紙

環境と健康

発行者
一般財団法人 ～みんなの生命をまもりつづけたい～
広島県環境保健協会
兼森　裕
広島市中区広瀬北町9番1号
郵便番号　730−8631
電話　082−293−1511番
振替口座01380−2−27511
URL　http://www.kanhokyo.or.jp/

「オーダーメイド研修」スタート

ニーズに応じた内容で課題解決へ

当協会では、公衛協に関する基礎的な情報をお伝えする基礎研修、水辺教室、広報や企画づくりなど公衛協活動に関するテーマを専門的に学ぶ専門研修などを実施しています。

これまでの専門研修は、当協会が日時や場所などを指定して実施していましたが、「研修時間が長い」「開催地が遠い」「テーマが公衛協活動と合わない」などのご意見をいただいていました。そこで今年度より、公衛協が希望する日時・場所・研修時間・テーマで専門的な学習会を実施する「オーダーメイド研修」をスタートさせました。

オーダーメイド研修では、公衆衛生活動に関する知識の習得や、地域課題の解決策を体験的に学び、実践に活かしていただくことを重視しており、既に総会や基礎研修の場で「防災・減災（簡易トイレ編）」「組織づくり（推進委員の役割と楽しみ方）」「環境と健康づくり総論」といったテーマで研修が実施されています。

今後も、日本赤十字社から講師を招いて実施する「防災・減災（応急救護編）」や地域の防災イベント内の学習会として実施する「防災・減災（簡易トイレ編）」など、申請公衛協のニーズに合わせてさまざまな場面・内容で研修を実施予定です。研修内容については、事前に調整させていただきます。我がまちの活動リーダーに知ってほしい、体験してほしい内容がありましたら、お気軽にご連絡ください。

地域の課題解決や住みよい地域づくりに活かせるよう、積極的にオーダーメイド研修をご活用いただき、公衛協活動をともに盛り上げていきましょう。

（地域活動支援センター）

防災・減災（簡易トイレ編）のテーマでは、簡易トイレの備えの必要性を学ぶほか、実際に簡易トイレの組み立てや凝固剤の使用体験を行った。

安全性高める2段階認証

戸締まりと同じ スマホにも鍵を

安心して使う デジタル生活術 ①

今では、誰もがスマホやパソコンを使う時代です。家電製品にも多くの機能が加わり、こうした機器への知識や慣れには、人それぞれ差があります。このシリーズでは、デジタル社会の中で少し役立つ情報をお伝えします。

第１回は、ニュースで見かける情報漏えいや詐欺のような「怖い話」ではなく、正しく使えば便利で、必要以上に恐れるものではないことをお伝えします。

スマホで調べものをすることは、今では当たり前になりました。行政サービスや買い物、乗り物での利用など、日々の生活の多くを一台で済ませることができます。「頼りすぎるのは不安だ」と感じる方もおられるでしょう。しかし、危険なのはスマホそのものではなく、使い方です。よく使われる「セキュリティ」という言葉も、難しく考える必要はありません。家の戸締まりと同じように、スマホにもしっかり鍵をかけることが大切です。簡単すぎるパスワードを使ったり、増えすぎてどのパスワードか分からなくなったりすることも少なくありません。そこで、ここではいくつかの工夫をご紹介します。

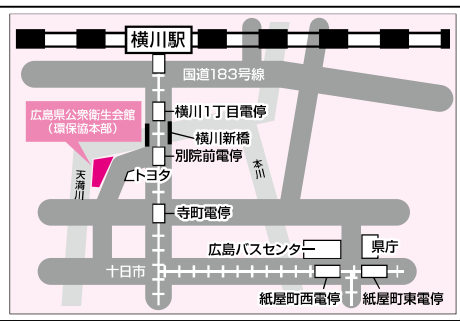
パスワードを管理する際に、紙にメモをする人がいるでしょう。これを危険とするのではなく、これを他人に見られない場所に管理することが重要です。この紙を持ち歩くのは、大変危険です。忘れないように覚えるのではなく、忘れても安全な仕組みを考えましょう。

「2 段階認証」は、ID とパスワードに加えて、別の方法で本人確認をする仕組みです。たとえば、メールで届く確認番号を入力したり、専用アプリを使ったりします。少し手間でも、安全性を高める効果があります。家でいえば、鍵を二重にかけるようなものです。スマホでも、ぜひ取り入れてみてください。まわりに詳しい方がいれば、気軽に相談するのもよいでしょう。　（情報管理課　仲西 健）

攻めの予防医学

きんせんか 琴線歌

上野賢一郎厚生労働大臣は、2026年3月19日の参議院厚生労働委員会での所信表明演説で、『攻めの予防医療』を推進する総合的な対策を取りまとめていく』と表明し、「がん検診の推進」「歯科健診の推進」「データヘルスや保険者機能の強化」「性差に由来する健康課題への対応」を進めていくこととしております。特に、上野大臣は、高市総理が同年2月20日の施政方針演説で述べたように「性別、年齢、働き方によらず、国民一人ひとりが健康で元気に活躍し、社会保障の担い手になっていただくことで、経済社会の活力を維持・強化するため、攻めの予防医療を推進する総合的な対策を取りまとめていく」とも述べておりますことと、国民の健康リテラシー向上に寄与するため、市町村、健康保険組合、事業主との協同が必要と考えます。今後、予防医学事業中央会は、「攻めの予防医療」を推進し、健康寿命の更なる延伸に取り組んでいく所存です。

（公益財団法人予防医学事業中央会
専務理事　中野 厚夫）

一般財団法人 ～みんなの生命をまもりつづけたい～
広島県環境保健協会
〒730-8631 広島市中区広瀬北町９番１号（広島県公衆衛生会館）
TEL:082(293)1511 ［大代表］ FAX:082(293)1520
かんほきょう 検索
基本理念 みんなの生命（いのち）をまもりつづけたい。
私たちは、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組み、持続可能な社会の発展に貢献します。